

作成 2016.11.4

養生用テープ

ボンド VF608

ボンド VF608は、ポリエステル織布の両面にポリエチレンをラミネートした支持体にアクリル系粘着剤を粘着加工した片面テープです。
特殊なフィルムを使用しているため、手切れ性が良く、被着体へののり残りも少なく、作業性良好な養生用テープです。

■ 用 途

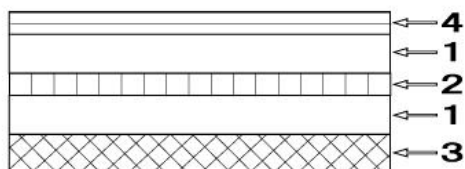
- 建築内装等の養生用

■ 特 長

- 手で横にまっすぐカットできます。
- 被着体へののり残りが少ないため、容易にはがすことができます。
- 巻き出しが軽く作業性が良好です。

■ 性 状

構成図



テープ厚さ : 0.13mm

1. 支持体 : ポリエチレンラミネート層
2. 支持体 : ポリエステル織布
3. 粘着剤 : アクリル酸エステル樹脂
4. 離型層 : 離型処理剤

■ 使用方法

接着面のゴミなどの汚れを取り除いてください。
はりつけ後、十分に圧着をしてください。

〔使用上の注意〕

※粘着面に手をふれると接着強さが低下しますのでふれないでください。

※ポリエチレン、ポリプロピレン、シリコーン樹脂、フッ素樹脂等では十分な接着力が得られません。これらに使用の際は、あらかじめ試験してから使用してください。

※一度はったテープは再使用しないでください。

※貴金属や高価品への使用は避けてください。

■ 注 意

- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・異常を感じた時は必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

火気厳禁

指定可燃物(合成樹脂類)

■ 梱包容量

サイズ：50mm幅×25m巻、1ケース30巻入り。

※ 詳細な注意事項が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照ください。

※ 国際単位系(SI)による数値の換算は、 $1000\text{cP}=1\text{Pa}\cdot\text{s}$ ($1\text{cP}=1\text{mPa}\cdot\text{s}$)、 $1\text{kgf}/\text{cm}^2=0.098\text{N}/\text{mm}^2$ です。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうると考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

大阪本社	大阪府中央区道修町1-7-1（北浜TNKビル）
東京本社	東京都千代田区神田錦町2-3（竹橋スクエア）
支店	名古屋、福岡、札幌、横浜
営業所	仙台、栃木、前橋、静岡、金沢、高松、広島、沖縄

■ 技術データ

以下のデータは断りのない限り、すべて23±2℃、50±5%RHの標準状態で測定したものです。

1. 被着体別 180度引きはがし接着強さ

試験項目	被着体	養生条件	VF608
180度引きはがし 接着強さ N/25mm	ステンレス板 (SUS 304 BA)	23℃・1分間	5.9
	クッションフロアー		2.2
	合板		3.0
	木質フローリング材A		4.1
	木質フローリング材B		5.3
	ステンレス板 (SUS 304 BA)	23℃・72時間	8.0
	クッションフロアー		4.5

試験方法

標準状態において、被着体に25mm幅のテープをはり合わせ、テープの上を2kgのゴム張りローラーを約300mm/分の速さで1往復させて圧着する。

所定の時間養生後、180度方向に引張速度300mm/分で引きはがしたときのはく離強さを測定する。

2. 低温環境下 180度引きはがし接着強さ

試験項目	被着体	養生条件	VF608
180度引きはがし 接着強さ N/25mm	ステンレス板 (SUS 304 BA)	0℃・1分間	7.6
	クッションフロアー		1.0
	合板		1.6
	木質フローリング材A		5.9
	木質フローリング材B		7.8

試験方法

0℃雰囲気下において、被着体に25mm幅のテープをはり合わせ、テープの上を2kgのゴム張りローラーを約300mm/分の速さで1往復させて圧着する。

1分間養生後、180度方向に引張速度300mm/分で引きはがしたときのはく離強さを測定する。

3. のり残り性

試験項目	被着体	養生条件	VF608
のり残り性試験	ステンレス板 (SUS 304 BA)	50℃・14日間	のり残りなし
	クッションフロアー		のり残りなし
	合板		のり残りなし
	木質フローリング材A		のり残りなし
	木質フローリング材B		のり残りなし

試験方法

標準状態において、被着体に25mm幅のテープをはり合わせ、テープの上を2kgのゴム張りローラーを約300mm/分の速さで1往復させて圧着する。

50℃雰囲気下で14日間養生後、標準状態下に2時間静置し、テープを手で引きはがし、のり残りの有無を目視で確認する。